

## 第4章 廃棄物処理

### 第1節 一般廃棄物（ごみ）

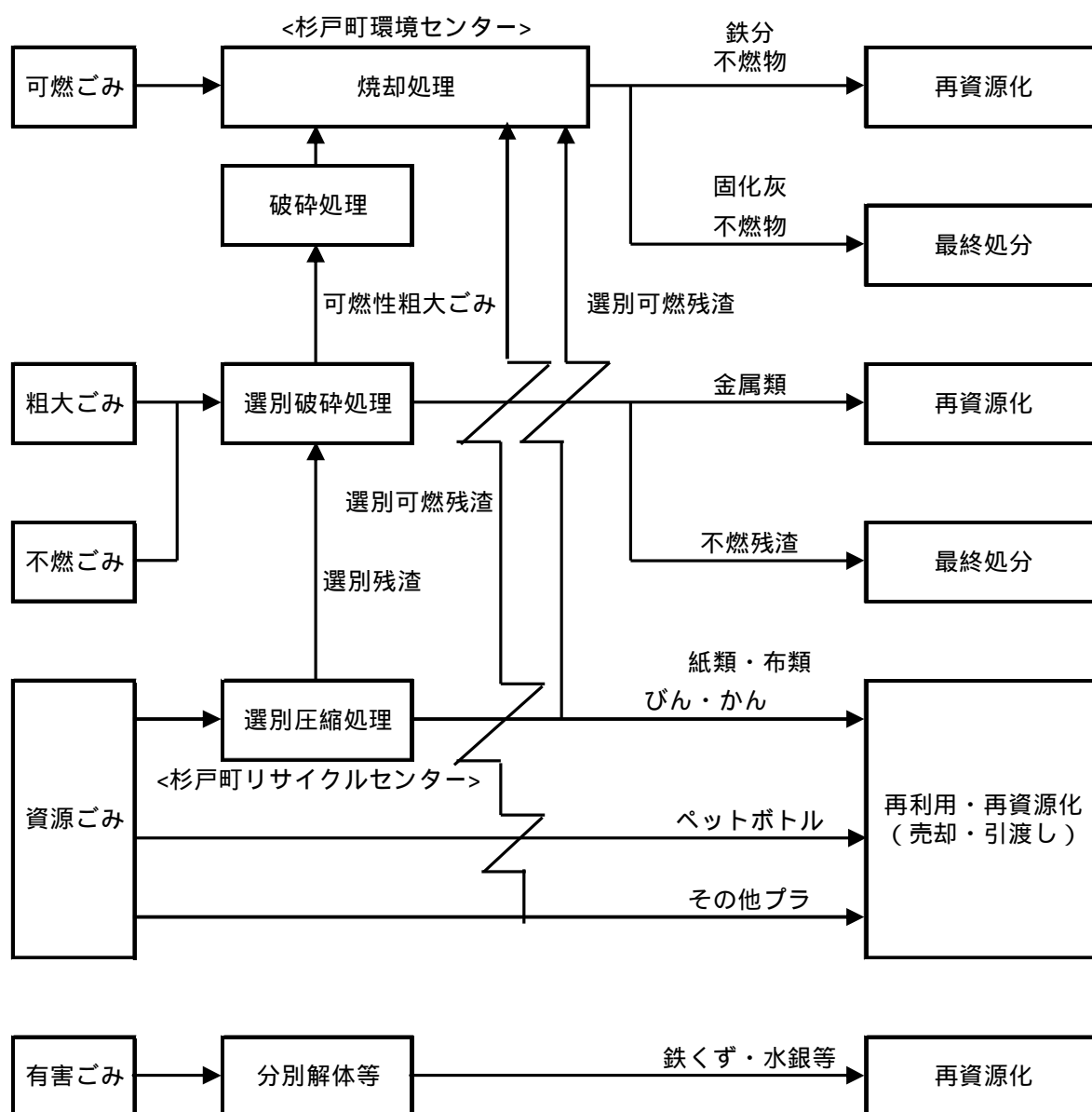
#### 1. ごみの処理

本町のごみ処理は、社会経済活動やライフスタイルの変化などから、ごみ量が増加するとともに、ごみ質も多様化し、ごみ処理に伴う環境負荷や処理費用が増大しています。

これらのごみ問題を解決するためには、一人ひとりがごみ減量を第一に考え、持続可能な資源循環型社会の実現を目指し、長期的かつ継続的に取組を進める必要があります。

現在のごみ処理フローを下記に示します。

現在のごみ処理フロー図



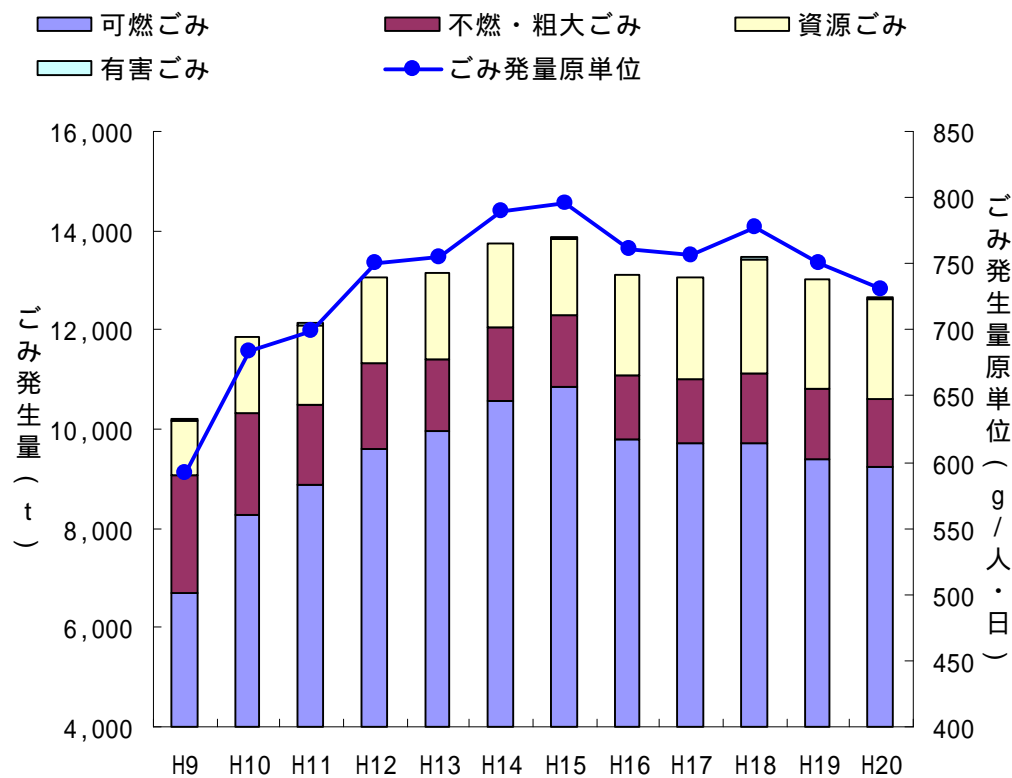
## 2.ごみの排出量

本町のごみ発生量の実績を下記の表に示します。町のごみ発生量は、可燃ごみが平成15年度をピークに減少しています。

ごみ発生量の実績

人口：各年10月1日現在

区分 年度	収集区域 人口	年間発生量(t)					ごみ発生量原単位 (単位 g/人・日)
		可燃	不燃粗大	資源	有害	合計	
H9年度	47,151	6,689	2,384	1,096	14	10,183	591.7
H10年度	47,565	8,262	2,078	1,513	8	11,861	683.2
H11年度	47,539	8,889	1,594	1,624	16	12,123	698.7
H12年度	47,753	9,589	1,744	1,729	9	13,071	749.9
H13年度	47,706	9,971	1,434	1,725	17	13,147	755.0
H14年度	47,691	10,579	1,489	1,673	9	13,750	789.9
H15年度	47,365	10,826	1,461	1,554	13	13,854	795.9
H16年度	47,173	9,811	1,296	1,975	31	13,113	761.5
H17年度	47,335	9,713	1,292	2,059	12	13,076	756.8
H18年度	47,384	9,707	1,407	2,320	20	13,454	777.9
H19年度	47,449	9,363	1,390	2,228	14	12,995	750.3
H20年度	47,467	9,233	1,380	2,024	16	12,653	730.3



(1)分別区分

現状の収集ごみの区分は下表に示すとおりです。

収集ごみの区分及び品目例

区分	品目例	
可燃ごみ	厨 芥 類：生ごみ、食用油の残油等 紙 く ず：資源ごみ以外のもの 木 く ず：小枝・落葉・草等 布 類：資源ごみ以外のもの 皮 革 類：くつ、カバン等 そ の 他：紙おむつ、タバコの吸殻等	
粗大ごみ	粗大ごみ：50cm を超え 2m 未満の大きさのもの 家 具 類：机、タンス、テーブル、イス等 電化製品：掃除機、扇風機、こたつ、換気扇等 布 類：ふとん、座布団、ジュータン類等 金 属 類：自転車、三輪車、乳母車 そ の 他：石油ストーブ、ガス器具類	
不燃ごみ	不燃ごみ：大きさが 50cm 以下の燃えないごみ 陶磁器類：茶碗、皿等 ガラス類：ガラス、鏡、電球等 プラスチック：バケツ、洗面器、かさ、ハンガー、ビデオテープ等 金 属 類：なべ類、包丁、塗料缶（空）、オイル缶（空）等 そ の 他：玩具類（金属と複合のもの）、小型電化製品等	
資源ごみ	かん	ジュース、ビール、焼酎等の飲料用の缶 缶詰め、菓子の缶、お茶の缶、海苔の缶
	びん	ジュース、洋酒、焼酎等の飲料用のびん ジャム、インスタントコーヒー、調味料のびん等
	ペットボトル	炭酸飲料、酒類等の飲料用のペットボトル 醤油などのペットボトル
	その他プラ	プラスチック製ボトル型容器、食品用包装パック、白色トレイ等
	紙・布	紙 類：新聞、雑誌、段ボール、牛乳・ジュース類のパック等 布 類：衣類、布類、毛布、カーテン、シーツ等
有害ごみ	有害ごみ：乾電池、蛍光灯、使い捨てガスライター、スプレー缶、体温計（水銀使用のもの）	
収集できないもの	大型ごみ：ピアノ、ベッド（スプリング入り）、自動車用部品、農機具等 爆発性・揮発性・引火性：ガスボンベ等 危 険 物：薬品類、農薬類、バッテリー等 電化製品：エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、パソコン その他：樹木、焼却灰、農業用ビニール、感染性廃棄物、産業廃棄物、消火器等	

第4章 廃棄物処理

(2)収集・運搬の方法

収集・運搬は、委託で行っており、ステーション方式でゴミを収集しています。

(3)収集区域

収集区域は本町全域とし、収集区域ごとに曜日を設定してゴミの収集・運搬を行っています。なお、収集日程を下表に示します。

収集日程

区分 区域	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大 有害ごみ	資源ごみ		
				びん・かん・ペットボトル	紙類・布類	その他プラ
中央1・3地区	月・木曜日	第2・4・5 火曜日	第1水曜日	第1・3 火曜日	第3水曜日	金曜日
中央2・4地区	月・木曜日	第2・4・5 金曜日	第2水曜日	第1・3 金曜日	第4水曜日	火曜日
西・東地区	火・金曜日	第2・4・5 月曜日	第3水曜日	第1・3 月曜日	第1水曜日	木曜日
南・泉地区	火・金曜日	第2・4・5 木曜日	第4水曜日	第1・3 木曜日	第2水曜日	月曜日

(4)ごみ処理経費等

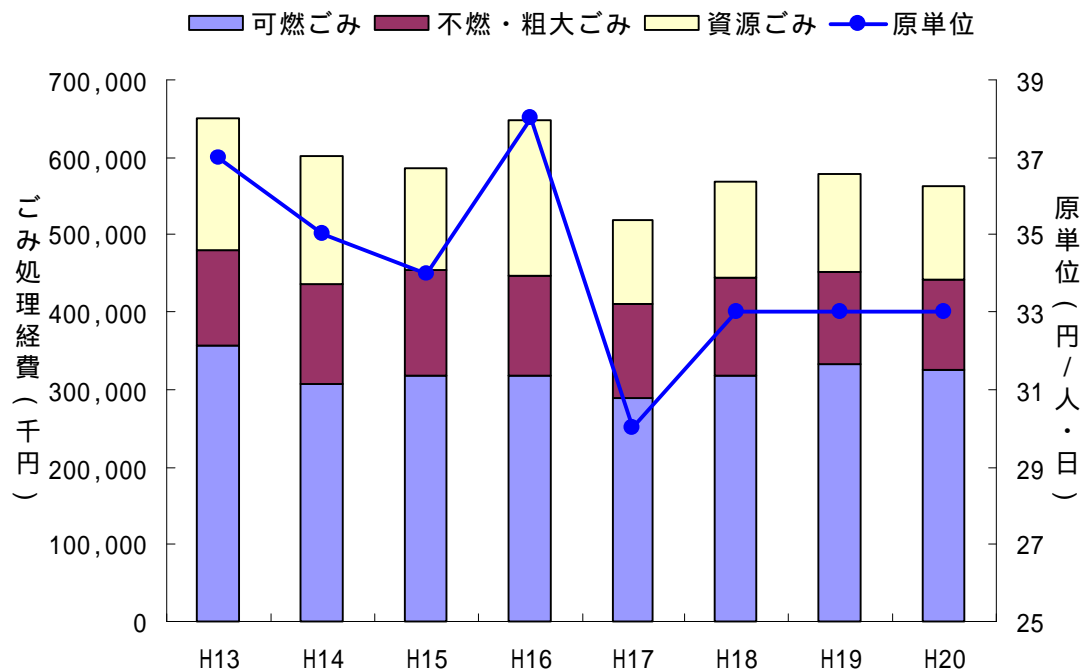
以下の表及び図に示すとおり、ごみ処理経費は増加・減少を繰り返しています。

年間のごみ処理経費

単位：千円

年度	項目 可燃ごみ	不燃ごみ 粗大ごみ 有害ごみ	資源ごみ	合計	1人1日当たり のごみ処理経費 (円/人・日)
平成13年度	355,390	125,778	169,971	651,139	37
平成14年度	307,237	128,967	165,312	601,516	35
平成15年度	317,593	136,135	133,860	587,588	34
平成16年度	318,454	127,915	201,810	648,179	38
平成17年度	289,140	120,674	108,723	518,537	30
平成18年度	318,915	124,113	125,408	568,436	33
平成19年度	332,909	119,844	124,714	577,467	33
平成20年度	325,569	116,882	121,790	564,241	33

第4章 廃棄物処理



(5) 集団資源回収ごみの実績

本町の集団資源回収の実績を下表に示します。資源回収団体奨励金制度により、回収量に応じた奨励金を交付し、再資源化を促進しています。実施団体数は横ばい傾向にあり、全体の集団資源回収量としては、年間約2,000tで推移しています。

集団資源回収ごみ実績（人口各年10月1日現在）

年度	人口(人)	集団資源回収ごみ (t)	原単位 (g/人・日)
平成14年度	47,691	2,026	116.4
平成15年度	47,365	2,071	119.8
平成16年度	47,173	2,034	118.1
平成17年度	47,335	2,073	120.0
平成18年度	47,384	2,074	119.9
平成19年度	47,449	2,052	118.5
平成20年度	47,467	1,967	113.5

集団資源回収状況等

単位：t（団体数を除く）

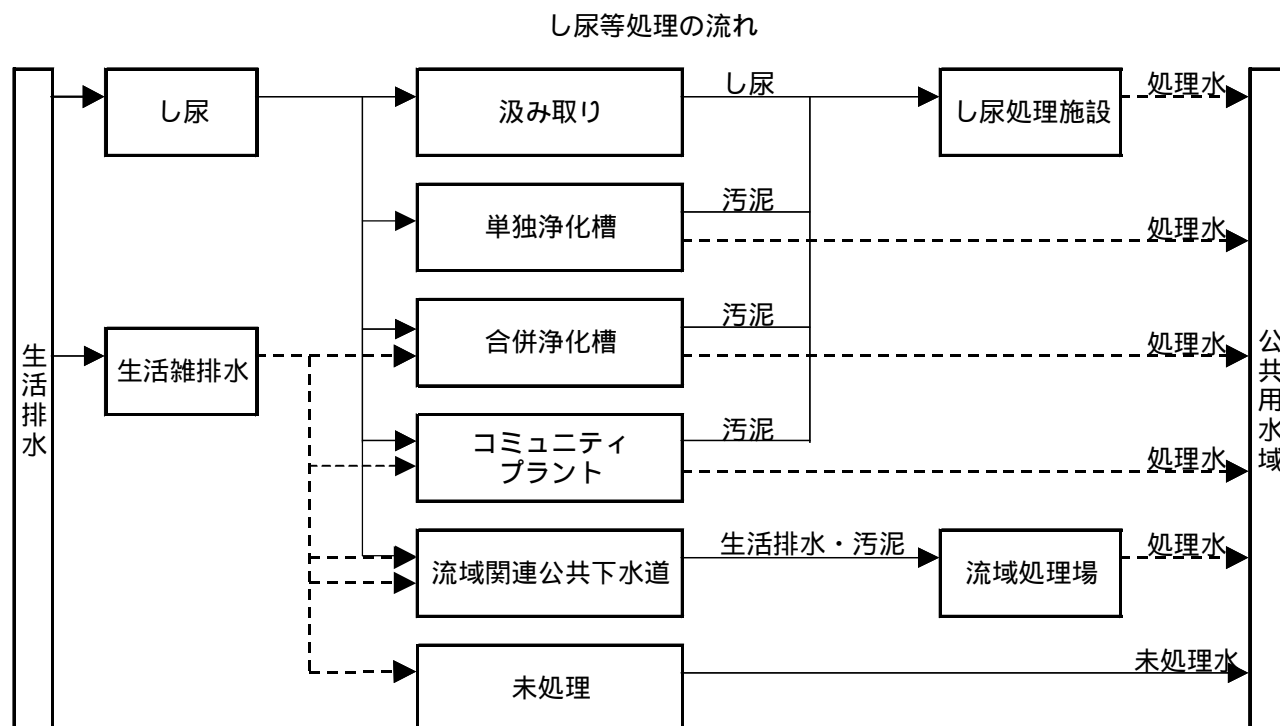
年度	新聞	雑誌	段ボール	布	牛乳パック	アルミ	団体数
平成14年度	1,334	319	279	76	5	13	79
平成15年度	1,348	316	306	83	5	13	79
平成16年度	1,367	298	299	51	5	13	80
平成17年度	1,454	290	280	32	5	13	81
平成18年度	1,463	288	273	34	4	12	78
平成19年度	1,422	302	275	35	4	14	76
平成20年度	1,345	285	280	39	3	15	77

## 第2節 一般廃棄物（し尿）

### 1. し尿の処理

本町で出されるし尿は、下水道、浄化槽、し尿収集などの方法で処理されています。

し尿及び浄化槽汚泥の収集は、許可業者（6社）によって行われており、収集後、幸手市の処理施設に運ばれ、処理されています。



処理形態別人口

単位：人

年度	H16	H17	H18	H19	H20
計画処理区内人口	47,262	47,240	47,380	47,413	47,562
水洗化・生活排水処理人口	34,879	35,485	37,100	38,207	39,693
合併処理浄化槽	4,069	4,895	6,082	7,364	7,894
公共下水道	28,724	28,995	29,415	29,277	30,277
農業集落排水施設	0	0	0	0	0
コミュニティプラント	2,086	1,595	1,603	1,566	1,522
水洗化・生活排水未処理人口 （単独処理浄化槽）	10,600	10,293	8,851	7,843	6,542
非水洗化人口 （し尿収集人口）	1,783	1,547	1,429	1,363	1,327

注1) 人口は、水洗化人口資料上年度末（3月31日現在）としています。（但し、し尿収集人口については、10月1日現在）

注2) 水洗化・生活排水未処理人口は、計画処理区内人口より他の処理形態別人口を差し引いて算定しています。

第4章 廃棄物処理

(1)処理形態別処理経費

本町の処理形態別の処理経費を下表に示します。

処理形態別処理経費

単位：千円

年度		H16	H17	H18	H19	H20	
経費	下水道	流域維持管理負担金	113,858	111,665	106,679	110,862	102,212
	維持管理費	管渠維持管理費	32,430	29,712	32,704	26,551	25,111
	し尿収集経費		12,190	11,187	10,797	9,963	9,429
	浄化槽汚泥収集経費		9,734	7,319	5,106	5,267	5,267
収入	下水道使用料		288,105	293,450	289,549	294,769	288,075
	し尿手数料		11,610	10,654	10,278	9,488	8,843

浄化槽汚泥収集経費は、し尿処理を幸手市に委託したことに伴い、町管理のコミュニティプラント4施設の余剰汚泥運搬を業者委託としたことによる経費です。

平成18年度はコミュニティプラント3施設の経費です。

(2)し尿処理施設

本町のし尿処理は、幸手市ひばりヶ丘桜泉園し尿処理施設に搬入され処理されており、同施設の概要は、下表に示すとおりです。

桜泉園し尿処理施設の概要

施設名	幸手市ひばりヶ丘桜泉園し尿処理施設
所在地	埼玉県幸手市大字木立 1779-5
処理能力	80kl/日
竣工年月日	昭和57年3月
処理方式	低希釈二段活性汚泥処理方式
高度処理	オゾン脱色設備、砂ろ過処理施設
放流先	中川